

事業所名

多機能事業所しっさきらり（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

2026年

2月

12日

法人（事業所）理念		平成21年に設立し、「生きる力を育てよう」「ひとりひとりが生活を楽しみながら共に育ち合うこと」を理念としています。 「生きる力」とは・人との関わりの中で尊重され、認められ、「自分は愛されている」と実感もてること。その安心感の中で自分で表し、選び、行動していく力が育っていきます。								
支援方針		きらりには特別支援学校、地域の小中学生など低学年から高校生まで幅広い子どもたちが通っています。放課後の時間を「安心してのびのび過ごせる場所」にして「やってみたい」「たのしい」があふれる環境の中で、仲間と一緒に主体性と生きる力を育てていきます。また個別の支援が必要なお子様にも安心して参加できるよう、ひとりひとりのペースに合わせた環境づくりを大切にしています。								
営業時間		9時	00分	から	18時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	生活リズムの調整、健康のための環境の配慮を行います。 ひとりひとりの子どもに合わせた生活にかかわる日常生活動作の獲得を目指します。 衣服の着脱、季節に合わせた衣服の調整、食事動作の支援、食具の使用の支援、身だしなみや整容の支援、排泄に関する支援を行います。また健康な身体を育てるために公園などで身体を動かします。								
	運動・感覚	あそびを通して体幹機能を高め、身体の使い方や感覚のコントロール・調整ができる力を育てていきます。 大型遊具やブランコ、リズムあそびなど全身運動を取り入れます。（粗大運動） 日常生活や作業に必要な動作を習得し支援します。（微細運動） 感覚あそび（スライム作りや工作）を通して感覚過敏や鈍麻の軽減を支援します。								
	認知・行動	情報を得て認知（イメージや考え）の発達を促し、行動につなげる支援をします。またあそびを通して安心して過ごせるよう支援します。 好きなあそびを自分で決めることや好きなあそびを継続していく環境を設定し、情緒の安定を保つ支援をします。 認知の偏りなど個々の特性に配慮して支援します。								
	言語 コミュニケーション	あそびや他者との関わりの中で自己理解、他者理解ができるよう支援します。 自分の気持ちやSOSをことばやしぐさで伝える。相手（友だち）の気持ちを支援者に代弁してもらい関わり方を学びます。 非言語コミュニケーション手段を用いて意思表示ができるよう支援します。								
	人間関係 社会性	安心できる大人や友だちと集団参加できる機会を設定し、信頼関係、共感関係の構築を目指します。 友だちとのやりとりを通し、折り合いや他者理解につながるような支援をします。 またルールのある遊びを提供します。								
家族支援		定期的な懇談会にて療育相談を実施 2か月に1度の保護者交流会や情報交換会、学習会 就労に向けての見学会の実施、相談援助				移行支援		学校や学童にスムーズに移行するための移行支援 ライフステージに応じ就労支援先などの移行支援		
地域支援・地域連携		各関係機関（医療・教育・子育て・保健・福祉）との連携を行い、子どもたちがより広く支援を受けられるような支援 小牧市自立支援協議会への参加（地域の課題解決、他機関との連携） 障害児等療育支援事業への参加（関係機関との協同事業への参加など）				職員の質の向上		研修計画の実施 法人理念研修/制度理解/直接支援技術・基礎知識（障害特性理解・子どもの発達・感覚統合）/虐待防止研修・身体拘束の適正化研修/救命講習/食中毒・感染予防研修訓練/てんかんアレルギー研修/車両運行研修/		
主な行事等		2025年実績 トヨタ技術記念館・北名古屋市ジャンプホール・庄内緑地公園・電気の科学館・エアポートウォーク・トランポリン 花見・七夕・ハロウィン・クリスマス会・お正月遊び・節分・ひなまつり								